

情報基礎実習 ペイントを用いたお絵描き

ペイントはシンプルなお絵かきソフトウェアである。幾何図形を用いたイラスト描きには PowerPoint や、 Word の図形描画機能が便利だが、塗り絵ふうのお絵描きにはペイントが便利である。ここでは童心にかえて、ペイントを使ったお絵描きをしよう。



図 4-1 ペイントのウィンドウ

表 4-2 メニューバー

メニュー・大項目	小項目	機能
[ファイル]	[名前を付けて保存]	ファイルの保存先(フォルダ)、ファイル名とファイル形式を指定して、保存する。
	[上書き保存]	名前を付けてファイルに保存した後に編集を行い、上書きする場合に使用する。
	[印刷]	印刷する。
[編集]	[元に戻す]	1つ前の状態に戻す。 ← 試してみよう!
[表示]	[拡大]	拡大する。
	[ビットマップ表示]	ビットマップ表示にする。
[変形]	[反転と回転]	図形を反転させたり、回転させたりする。 (水平方向、垂直方向、角度指定)
	[伸縮]と[傾き]	伸縮 (水平方向、垂直方向)の調整と 傾き (水平方向、垂直方向)の調整をする。
	[キャンパスの色とサイズ]	絵を描く、キャンパスの大きさを指定する。 カラー または 白黒の指定をする。
	[色の反転]	← 試してみよう
	[すべてクリア]	現在キャンパスに表示されている絵を全て消す
[色]	[色の編集]	パレットに表示されている色以外を作成して、使用するときに使う。
[ヘルプ]	[トピックの検索]	どのような機能があるのか調べることができる。

表 4-3 ツールボックス

No	項目名	機能
1	自由選択	マウスを動かしたとおりの自由な形で図形が選択できる。マウスポインタが矢印になったら選択部分を移動できる
2	選択	マウスポインタをドラッグして図を選択すると、点線の四角で囲まれる。背景を選択するかどうかを No.17 で切り替えられる
3	消しゴム	消しゴムを選択して、消去する部分をマウスポインタでドラッグする。No.17 で消しゴムの大きさを指定できる
4	塗りつぶし	塗りつぶす領域でマウスの右ボタンまたは左ボタンをクリックする
5	色の選択	既に描いた図の中から使用する色を選択できる
6	拡大と縮小	表示を拡大、縮小する
7	鉛筆	マウスポインタでドラッグして線を描く
8	ブラシ	ブラシを使ったような線が引ける。太さは、No17 で指定する
9	エアブラシ	マウスの左ボタンを押すと、スプレーを吹き付けることができる。エアブラシの大きさは、No.17 で指定する
10	テキスト	文字を表示する。文字の書式、大きさを変更できる(ヘルプを使って調べよう)
11	直線	直線が引ける。No.17 で線の太さを指定できる
12	曲線	ポインタをドラッグして曲線を描く。線を曲げる位置は2箇所指定できる
13	四角形	四角形を描く。線の太さは、No.6 の直線を選択して No17 で指定したものを使う
14	多角形	ポインタをドラッグして多角形を描く。完了時はダブルクリックする
15	楕円	楕円を描く。線の太さは、No.6 の直線を選択して No17 で指定したものを使う
16	角丸四角形	角が丸い四角形を描く
17		選択した項目によって表示が変わる。 ← 試してみよう

[変形]—[キャンパスの色とサイズ]をクリックすると、(幅)、(高さ)、(単位)、(色)を選択するウィンドウが表示される。ここで(色)を白黒にして、パレットに表示された様々なパターンで、塗りつぶしの四角形を描いてみよう。

(注意：白黒に切り替えると、すべて白黒になり、元の状態には戻せない)

(Revised 2006/ 4/26)